

＜ 情報 ＞科 学習シラバス

科 目	社会と情報	学年・類型	1 年生	単位数	2 単位	教科書	最新社会と情報（実教出版）
学習の到達目標		身の回りにある情報機器について考えさせ、利用できる能力を養うとともに、実践的に文字を打つことや計算することを身に付けさせる。 情報モラルについて考えさせ、情報をよりよく使える人間を育成する。					
評価の観点	A 関心・意欲・態度	B 思考・判断	C 技能・表現	D 知識・理解			
評価の内容	情報や情報社会に関心を持ち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するため情に、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。			
評価の方法	・実技への取組状況 ・予習、復習の取組状況 ・定期考査 ・課題等の提出状況	・授業内での発言 ・課題等の内容 ・定期考査	・実技への取り組み状況・定期考査 ・定期考査	・授業内での発言 ・定期考査 ・課題の内容			
学期	月	単元名・小単元名	学 習 の 指 導 内 容	評 価 の 観 点			
				A	B	C	D
1 学 期	4	オリエンテーション	・中学校までの生徒の知識・技能・経験などの調査 ・コンピュータの起動や終了方法 ・文章の入力やフォルダへの保存実習 ・コンピュータ教室でのマナー	○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○	
	5	1章 情報社会と私たち 1節 情報社会	・情報や知識についての意味、コミュニケーションの変化 ・情報化がもたらした利益と幸福、情報化の「影」	○	○ ○	○ ○	○ ○
		2節 情報社会の個人	・情報の取捨選択の必要性 ・表現の正確性、視覚的要素、単純化、配色の工夫	○	○ ○	○ ○	○ ○
	6	3節 情報とメディア	・問題解決の方法と手順 ・情報の収集、整理・分析 ・ワープロや表計算ソフトの使用	○ ○	○	○ ○	○ ○
	7	第2章 ネットワークの活用 1節 情報の検索と収集	・webページの閲覧方法 ・検索エンジンの種類 ・検索の仕方と使い分け	○	○ ○	○ ○	○ ○
2 学 期	8 ・ 9	2節 情報の受発信と共有	・電子メールの送受信 ・ファイルの圧縮 ・ファイルの形式 ・フォルダによる情報の階層化 ・情報の加工と再利用	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
	10	3節 ネットワーク利用 の心がまえ	・情報の信ぴょう性と信頼性 ・個人情報保護法について ・知的財産権の種類と内容 ・著作権や肖像権等の侵害事例 ・パスワード・暗号化 ・ネットワーク利用のマナー	○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○
	11	第3章 マルチメディアの活用 1節 情報の統合	・コンピュータの構成と周辺機器・インタフェース ・OSとソフトの働き	○	○	○	○
	12	2節 マルチメディア作品の制作	・プレゼンテーションの流れ ・プレゼンテーションの作成 ・webページの制作	○	○ ○	○	○ ○
3 学 期	1	第4章 未来に向けて 1節 メディアの発達としくみ	・記録メディアの発達と仕組み ・アナログとデジタルの意味	○	○	○	○
	2	2節 コンピュータとネットワークの仕組み	・入出力装置と人間との比較 ・インターネットとLANの仕組み	○	○	○	○
	3	3節 ITがひらく情報社会	・情報化の社会への影響 ・サイバー犯罪	○	○	○	○
学習のポイント		授業に一生懸命取り組むことが、学習の効果を向上させる。 日常で携帯電話やパソコンを使用する際にも、情報リテラシーの概念を実践する。					